

# 子ども人権メッセージ

平成24年8月22日

第4回埼玉県子ども人権フォーラム運営委員会

あなたは、人の表情の裏側にある心を見ることができますか。

人を「いじめていい理由」はありません。「いじめは悪いこと」なのです。また、人の悪口を言えば、必ず自分に返ってきます。

いじめているあなたは、遊びのつもりでも、その人が「いじめ」だと感じたら、それは「いじめ」です。だから、自分のしていることを自分がされたらどうかを考えましょう。

いじめられているあなたは、一人ではありません。あなたの味方はきっとそばにいます。だから、つらい気持ちを一人でかかえこまなくて、相談する勇気をもってください。

いじめを見ているあなたは、いじめを見て「許せない」と思うことは大切です。しかし、見ているだけではいけません。友達の手を貸して、いじめられている子と一緒にいてあげることが重要です。

いじめの問題に関係のない人はいません。「だれかが声をかけるだろう」ではなく、自分から勇気を出して声をかけましょう。

一人の力はわずかかもしれません。しかし、何もしないよりは、はるかに大きな力です。

私たちは信じています。あなたの小さな勇気が、人の心を救うことを！  
いじめのない学校にするため、このメッセージを送ります。

## ◇ 「関係ない」 そんなあなたも いじめっ子

いじめの問題に無関心でいいのでしょうか。

その無関心さが、いじめられている人への心ない一言や行動につながります。「自分がされたら・・・」そんな気持ちで相手の心の内を考えてみませんか。

## ◇ 「ダメ！ やめて！」 そのひと言で 変わるから

「いじめてはダメ！」「悪口を言ってはダメ！」「いじめるのをやめて！」まわりのその一言で、きっと状況が変わります。いけないこととわかっているのに、言ったら自分がいじめられると思っている人、勇気を出して声にしてみましょう。

## ◇ なくそうよ いじめの連鎖<sup>れんさ</sup> 広げよう 笑顔の輪<sup>えがお わ</sup>

いじめが次のいじめを引き起こすような友達関係でいいのですか。それよりも、あなたの笑顔で他のだれかを笑顔にしませんか。笑顔がつながると心がつながります。そんな関係にしませんか。いじめの世界と笑顔の世界、作りたいのはどちらですか。作るのはだれですか。

## ◇ 感じよう 言葉の重みと その力

ちょっとした一言で、人の心を深く傷つけてしまう言葉があります。でも、ちょっとした言葉が、人を優しい気持ちにしてくれます。どちらも人が使う言葉です。

あなたが使う言葉は、どちらの言葉ですか。

